



コロナ禍における
イベント実施の
工夫ポイント

- ①ソーシャルディスタンスの確保
- ②マスク着用
- ③手や道具の消毒
- ④検温実施
- ⑤参加者名簿の作成
- ⑥事前申込

散策、マラソン

実施地区 第三・柏尾・名瀬・下倉田

- 参加者を一斉に集めないよう、スタートとゴール地点の分散や流れ解散
- 各チェックポイントにアルコール消毒を設置



戸塚第三地区 地域ウォーク

工作等(屋内イベント)

実施地区 第一・柏尾・平戸平和台・大正・汲沢・下倉田・吉田矢部

- 工作物は短時間で作成できるもの
- 1回の参加者数を制限し、複数回に分けて実施
- 道具の共有は避け、参加者が持参



平戸平和台地区 段ボール工作

芋掘り、ロケット工作、かけっこ教室、ソフトバレー教室(屋外イベント)

実施地区 舞岡・大正・吉田矢部

- スタッフは全員フェイスシールド着用
- 参加者は健康チェック用紙を提出
- 地域別に時間を変えて複数回開催



舞岡地区 秋の芋掘り大会

工作キット配布

実施地区 第三・北汲沢・名瀬・汲沢・上矢部

- 工作物は会場で製作せず、材料を持ち帰り自宅で組み立て
- 材料の受け取りは時間を指定し、参加者を分散させる(事前にハガキ等で知らせ)



北汲沢地区 ミニ門松作り

2021年 上期行事予定

※新型コロナウイルスの影響により、時期・方法は未定です。

- 第27回 チャレンジフェスティバル(戸塚小学校) 20種類の競技にチャレンジ! 出るか新記録!!
- 戸塚区青少年指導員新人研修 新人対象の基礎研修
- 戸塚区青少年指導員全体研修 青少年指導員を対象にスキルアップを図る研修
- 青少年の健全育成を進める県民大会
- 全市一斉統一行動パトロール 青少年指導員が繁華街、公園などを中心に巡回夜間パトロールを実施
- 社会環境実態調査(インターネットカフェ・まんが喫茶、古書店、ゲームソフト取扱店などの店舗調査) 有害図書類区分陳列、18歳未満深夜入場制限規制表示、喫煙飲酒状況等を確認し、青少年保護育成条例の遵守状況を調査、報告

編集発行 ● 戸塚区青少年指導員協議会広報部会 / 印刷 ● (株)佐藤印刷所 ☎ 045-231-2434

●お問合わせ・ご意見は ● 戸塚区役所地域振興課 ☎ 045-866-8415 to-chishin@city.yokohama.jp



さくらっこ!



戸塚区青少年指導員協議会 戸塚区青指 検索

目次

P.1…幸福って何だと思いますか? / P.2・3…子育ての振り返り~これまでの「子育てワンポイント」20回分の要約です。~/ P.4…活動紹介 / 2021年度 上期行事予定

No.21

子育てワンポイント!

幸福って何だと思いますか?

私たちは皆幸福になりたいと願っています。そして子どもにも幸福になって欲しいと願います。この「幸福」とは何でしょうか。行きたい学校に行き、入りたい会社に入ること。お金持ちになって、長生きすること。それらの願望が全部満たされれば「幸福」になったということなのでしょうか。

たしかに願望の実現というのは幸福を感じるひとつです。願望、夢の実現のために努力する、そしてその結果だけでなくプロセスにも幸福を感じることはあります。でも私たちは、本来は誰のものでもない自分自身の夢や願望であるにも関わらず、つい周囲との比較の中で考えがちです。

子どもには幸福になって欲しい。親なら皆そう願っています。でもその幸福の基準が、周りの子どもとの比較で優位に立つことを望む親の願望だったなら、その子どもは将来つらい思いをすることになってしまうかも知れません。

〈友達と同じような〉服が着たい、〈みんなと同じ〉ゲームが欲しい。〈同級生たちよりも〉いい学校にいけば、〈友人よりも〉いい会社に入れば、〈近所や親戚よりも〉お金持ちになれば……。それが自分の願望であり、それが満たされれば幸福なのだ

人間は比較が好きで動物です。それなら周りとのヨコの比較ではなく、いまの自分と未来の自分とのタテの比較で夢や願望を考えてみましょう。皆と違っていてもいい、いまの自分が立てた自己実現目標をこの先の自分が達成できるか……。『逆上がりができるようになりたい』『みんなの前で上がらないで話せるようになりたい』『好きな子と一緒に中学校に行きたい』そんな子ども自身の夢や願望を親は応援し励ましましょう。そして、今日だめだったらまた明日、昨日の自分に負けないように少しでも前に進むがんばりが幸福感につながります。

ある人が図書カード(図書券)を私にくれました。なんと本30冊分、大助かりです。貰ったときは嬉しくて幸福な気持ちになります。そのあと友人とその方の図書カードの話になりました。そうしたら友人はその人から図書カードを本50冊分貰っていました。それを知ったとたん一転して幸福感は消え、腹立たしい気持ちに変わります。「なんで私よりも多いんだ……」と。

親にだって不安はあります。もし仕事を失っていても、給料が下がっても、健康に不安があっても、そんな自分が少し前に進めたと感じられる目標を実現させる。これが幸福の価値観ならば、誰もが、皆と一緒に、幸福になることができるのではないでしょうか。

「~と同じ」や「~よりも」はどれも周りと比較する言葉です。それが自分の夢や願望のきっかけになるかも知れませんが、それは果たして「誰のものでもない自分自身の夢や願望」なのでしょうか。

満足という幸福感は、人と比べるものではなく、自分の身の丈に合った夢や願望が満たされるかどうか大切な尺度のひとつかも知れません。私たち親の幸福についての価値観がそのまま子どもの幸福の価値観になります。ならば、どんな状況下にあってもその中で皆が幸福になることができる、そんな親や家庭でありたいものです。

子育ての振り返り

～これまでの「子育てワンポイント」20回分の要約です。～

ご関心のある本文(バックナンバー)をぜひ読み返してください。



(本文はこちらからご覧ください)

49号 えっ、うちの子に限って…



子育ての目的は「自律・自立」。そのためには「誰かに認められること」が何より大切です。「うんうん」「そうかそうか」と、まずは聴いて受止めましょう。「認める」ことは「賛成」でなくてもいいんです。まずは「うんそう屋」に徹してみましょう。

50号 子どもの年代によってちょっと違う関わり方、そのコツは…



「待つ・挑ませる・任せる」これは自主性と責任感の持てる人間形成に重要な教育のコツです。特に「待つ」は子育てにとっても大切なポイントです。親がグッとこらえて「待つ」ことで、何事にも対応できる「成熟した脳」が作られます。

51号 子育ての言葉遣い・コミュニケーション



コミュニケーションの本来の意味は「伝達」です。その方法はいろいろありますが、実は言葉よりも態度や表情の方に本音が表れます。親としては、言葉に惑わされることなく、しっかりと子どもの表情や態度を観察することが大切です。

52号 子どもの振り見て 我が振り直せ



「親は子の鑑」。子どもは身近な人の言葉遣いや動作を自然に真似しながら成長します。つまり、子どもにさせたいことは親が率先してやれば良いのです。「子は親の鏡」…成果は子どもに現れます。

53号 二つのじりつ



子育ての目的は子どもの「自立」です。「身体的自立」「精神的自立」「経済的自立」が自立の三本柱です。そしてもう一つ、自分で自分をコントロールする力、「自律」が必要です。子どもの「自立」と「自律」、二つの「じりつ」を育てましょう。

54号 しつけと虐待



子育ての目的は「自立」です。自立のために大切なしつけ、その中で叱る…これは大事なことです。叱るとセットで大切なのは褒めるという行為です。そのバランスが重要です。「良くできたね」と褒め「ならぬものはならぬ」と叱りましょう!!

55号 ゲーム、携帯・スマホ、どこまで許す!?



ゲームが親子の交流の道具になって、良好な関係を築くことにつながる現状もあります。誰でも楽しいモノにはのめり込みます。精神的に自立するまでは、親がしっかりと手綱を握り、時間制限を設けるなどして「行き過ぎ」を止めることが大切です。

56号 つながり ~絆~



真の「絆」「愛」には「お互いの価値観の違いを認めた上で、相手の生き方や考え方を尊重する」という姿勢を常日頃から心がける必要があります。これまでの出会いとつながりを大切にし、そして、これからの出会いを大切に、そのつながりを育て、絆を深くしていきましょう。

57号 本との出会いは人生を変える



「読書は脳のトレーニング」とも言われます。すぐにイメージ化しやすいマンガや映画とは違って、ストーリーの背景や状況を想像することで脳はどんどん活性化し神経回路が発達します。読書は人の成長に大きな良い機会を与えます。どんどん本に親しむ機会を作りましょう。

58号 親と子どもの距離感



親はさまざまな子どもの行動に対して、どこまでどのように口出しをすれば良いのでしょうか?言い過ぎか、遠慮し過ぎか、親として悩むところです。親という漢字通り、「木の上に立って、広い視野から子どもを見守り、こぞどという時に飛び降りて諭す」、それが望ましい親と子どもの距離感ではないでしょうか。

59号 チャレンジ(挑戦)させよう



子どもがチャレンジする環境を作るには、親の気持ちや都合を優先しすぎないことが必要です。結果ではなく、自分で取り組んだ姿勢やプロセスを称賛することがチャレンジ精神を育みます。そして何よりも大切なのは、親がチャレンジする姿勢を子どもに見せることです。

60号 ストレスとの付き合い方



ストレスは本来自分の心身を外敵や危険から守るために必要な自己防衛システムで、危険に陥りそうな時にはサインが出るようになっていきます。ストレスの仕組みとその予防や対処方法を知り、うまく付き合しましょう。

61号 春への準備



春は学校や職場などで親子とも環境が変わるシーズンです。新たな環境に対する準備が必要です。しっかり栄養を摂って、しっかり睡眠をとって、新しい環境に臨んだら、親としてはその後の子どもの変化を観察することが大切です。

62号 子どもから信頼されていますか?



子どもたちは黙っていても親や大人たちの言動を観察しています。子どもとの信頼関係を構築するには、常日頃からの子どもたちとの関わり方にポイントがあります。親や大人が、理想像や正義感をしっかりと持っている必要があります。

63号 偏った情報に振り回されていませんか?



いまは情報過多といわれています。「情報」を正しく判断するには知識とともに客観性が大切です。偏ることなく「情報」を判断するためには、客観性を阻害する無意識の代表的な三つの「心の作用」を知ることが重要です。心の作用を知って、親子で情報過多の時代を乗り切りましょう。

64号 どんな親に育てられたいですか



子育ての目的は「子どもの自立と自律」です。そのために親は懸命に努力します。しかし、良かれと思ってしていることでも、それが自立や自律を妨げているかもしれません。子どもが不快に感じる、ついしてしまいそうなことを4つ(①他人と比較する②脅迫する③子どもと一心同体④間違いを謝らない)挙げてみます。

65号 子どもから教えられること



親は、子どもたちの成長のためにいろいろなことを教えようと思っています。しかし、逆に子どもたちの言動から教わったり考えさせられたりすることも多いのではないのでしょうか。子どもたちの言動を大切に受け止めることが、大人と子どもの成長に必要なかもしれません。

66号 子どもにルールを理解させるには



子育てのために親としてはさまざまなルールを考えます。しかし、そのルールの目的を子どもが理解しなければ意味がありません。子どもの自立のために必要かどうかという観点から、守るべきものは守る、変えるべきものは変える、その姿勢が大切です。

67号 勝ち負けについて



人生は競争に始まり終わるといっても過言ではありません。でも勝ち負けの結果だけでなく、その勝ち方や負け方にも意味があります。「適度な目標意識」を持つことこそが成長には必須なのです。くれぐれも親の欲を子どもで満たすために勝負をさせないように気をつけましょう。

68号 自然の猛威と付き合う練習



新型コロナウイルス感染拡大防止のためにさまざまなことの「中止」や「自粛」が続いています。私たちは、自然の猛威に対して、ストレスをうまく発散しながら、耐えて、慣れていく練習をしなくてはなりません。5つの練習(①瞬時に発散②妄想する③開き直る④鈍感になる⑤自分を変える)を紹介しています。